

12月の寄贈品コーナー

寄贈された漂着物ー渡辺康史コレクションー

会期:2003年12/3(水)～1/4(日)

●ビーチコーミングとは？

近年、ビーチコーミングが静かなブームだと、雑誌やテレビで話題になることが多くなっています。ビーチコーミング beachcombing という言葉は、もともとは無人島に漂着したような人が、海岸を漁って食料や燃料、建物の材料などを手に入れることを意味していましたが、現在では、海岸で拾い物をする楽しみのことをさしています。拾った物は、観察やスケッチをするほか、コレクションを作る、クラフトの材料にするなど、その人によっていろいろな楽しみ方があります。

ビーチコーミングを趣味にしている人がビーチコーマーですが、今月の寄贈品コーナーで資料を紹介する大和市在住の渡辺康史さんは筋金入りのビーチコーマーと言えるでしょう。



渡辺コレクションの漂着した木の实

●ほぼ広い興味

ビーチコーマーの興味の対象は、人によって違っていますが、渡辺さんの場合には、非常に幅広いのが特徴です。

たとえば、貝やカニのような動物、果実や種子のような植物、浮きやおもりのような漁具、空きビン、土器の破片、化石など、何でも拾い集めてくるのが渡辺流です。県内だけでなく、沖縄からさらには外国まで、その足跡も広域に及んでいます。

●ネタと整理

渡辺さんから寄贈された漂着物は多岐にわたっていますが、それらにすべて拾った場所や年月日を書いたラベルがつけられているのが特徴です。そうすることによって、その物が単なるガラクタではなくて資料的な価値を持った物に変身するのです。

また、たとえば木や草の果実や種子は、透明なケースにきれいに並べられています。そう整理することで、見た目にも楽しいコレクションになっています。

皆さんも渡辺さんにならって、自分のコレクションを作ってみてはいかがでしょうか。